

第8回臨時会 (10月28日)

■寄附

社団法人「小さな親切」運動本部(東京都)から、特別養護老人ホーム「いちいの園」の入所者に利用していただきたいと車椅子の寄贈の申し入れがあり、10月20日、同法人北見支部長 岩瀬光子様より車椅子1台の寄贈を受けたところであります。

■児童遊園地遊具に係る塗装奉仕

津別建設業振興会及び同会塗装部会からの申し出により町内4か所の児童遊園地遊具の塗装が終了いたしました。ご奉仕いただきました振興会の皆様にお礼を申し上げます。

■森の健康館の運営

先に指定取消の申し出があった指定管理者(株)愛生の杜に対して、平成21年10月31日をもって指定管理者の指定を取り消す旨の通知をいたしました。今後、当施設の運営につきましては議会をはじめ関係者各位と協議しながら適切な対応を心がけ取り進める所存であります。

■「暴力団員による町営住宅等の使用制限に関する協定」の締結

9月定例議会において、町

営住宅等の住宅から暴力団員を排除するために町営住宅等の条例の一部を改正したところであります。今後町営住宅等において暴力団員の使用の制限をすることとなります。10月20日、美幌警察署長と「暴力団員による町営住宅等の使用の制限に関する協定」を締結しました。

◎その他報告された事項

■定額給付金 ■プレミアム商品券の販売による経済効果 ■第8回つべつ紅葉マラソン大会 ■津別ウツドクラフト展 ■高齢者に対するお祝い ■「東京つべつ会総会」 ■新型インフルエンザ対策

第9回臨時会 (11月26日)

■寄附

10月30日、新町 丸玉産業株式会社代表取締役社長 大越敏弘様より、丸玉産業森づくり基金の原資として一千万円のご寄附をいただいたところでありました。昨年に引き続きのご厚志に深く感謝申し上げます。

■21世紀の森キャンプ場施設の修繕奉仕

津別建設業協会、津別建設業振興会及び津別建築友の会による地域貢献活動の申し出

により、21世紀の森キャンプ場のテーブル及びベンチの修繕が行われました。

大変お忙しい時期にもかかわらず、ご奉仕いただきました皆様には心よりお礼を申し上げます。

■平成21年度津別町功労者・善行者表彰式

11月3日、文化の日に多くの出席者の皆さんとともに功労者6人、善行者1人の方々に表彰いたしました。

表彰の荣誉に浴された皆さんは、それぞれの分野において町勢の振興発展に寄与された事績によるもの、多額の篤志をいただいた実績によるもので、あらためて心より敬意を表する次第であります。

■札幌国際大学との協定

11月12日に札幌国際大学において、「森林セラピー事業を中心とした地域観光振興の協働に関する津別町と札幌国際大学との協定書」を札幌国際大学学長との間で交わしました。この協定は、同大学からの要請にもとづき、現在津別町が進めています「自然を生かした「癒しの空間」によるまちづくりプロジェクト」をはじめとした森林セラピー1、観光事業の推進について相互に協力するもので、向こう3年の予定で協定を結んだ

ところでありました。

◎その他報告された事項

■青少年海外研修派遣事業 ■グレステンスキー場の利用状況 ■温水プール(すいむ)の利用状況 ■ふれあい公園パークゴルフ場の利用状況 ■スポーツ合宿 ■津別峠展望施設 ■南アルプス市「ありがとう・心あったか祭り」 ■全国町村長大会 ■新型インフルエンザの状況

第10回定例会 (12月20日)

■叙勲

平成21年秋の叙勲におきまして、幸町 西澤伸夫様が、町議会議員、町議会議長として永年にわたり多方面において地方自治に貢献されました事績が認められ「旭日双光章」を受章されました。

■北海道社会貢献賞

自治功労者として乃村吉春議員が受賞されました。

■ふるさと納税制度による寄附

12月15日現在で、3件40万円のご寄附が寄せられており、ご厚志に深く感謝申し上げます。

■台北駐日経済文化代表処札幌分処の開所

12月1日、かねてから切望

されておりました同代表処の札幌分処が札幌駅前設置され、開所式が行われました。本町にも招待状が届いたことから、副町長が出席したところであります。

■森づくりコンクールの受賞

今年度で第4回となります。「ほっかいどう地球温暖化防止貢献の森づくりコンクール」におきまして、上里 中山行雄様が、カラマツの部で最優秀賞を受賞されました。

■交通安全祈願千羽鶴の寄贈

道内で本年発生死亡交通事故のうち、高齢者の被害が多発している状況にあることから、津別町老人クラブ連合会(山本峯雄会長)より会員に呼びかけ「交通事故に遭わない、交通事故を起こさない」という、強い意識をもって交通安全祈願の千羽鶴を折り、12月15日に津別町、美幌警察署、津別警察官駐在所に各一千羽のご寄贈をいただいたところであります。

◎その他報告された事項

■木質ペレット製造施設の竣工 ■イルミネーションの点灯 ■「認知症を考える」講演会 ■まちづくり懇談会 ■クリーンセンター焼却炉のダイオキシン類測定結果 ■建設工事等の発注状況

総務文教常任委員会

第8回（11月16日）

- ・町内視察結果について
- ・職員の給与に関する条例等の一部改正について

委員会活動

常任委員会
特別委員会

各常任委員会・特別委員会は議会の閉会中も委員会を開催し、所管事務について協議しています。

- ・地域情報通信基盤推進交付金事業について
 - ・北網地域活性化協議会について
 - ・一般廃棄物処理施設（今後の対応）について
 - ・相生小学校の閉校について
- 第9回（12月8日）
- ・職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例及び職員の給与に関する条例の一部改正について
 - ・特別職報酬等審議会条例の一部改正について
 - ・地域情報通信基盤推進交付金事業について
 - ・本岐地区テレビ共同受信施設改修に伴う助成について
 - ・（仮称）津別町多目的活動センターについて
 - ・新ふるさと定住促進条例の一部改正について
 - ・過疎地域自立促進市町村計画の変更について
 - ・北海道市町村備荒資金組合を組織する市町村数の増減について
 - ・一般廃棄物処理施設（可燃ごみ）に係る費用負担について

産業福祉常任委員会

第8回（11月9日）

- ・網走地方教育研修センター組合規約の変更について
- ・学校設置条例の一部改正について（相生小学校の廃止）

- ・町内視察結果について
 - ・林地残材の効率的な集荷システムづくりモデル事業
 - ・町営住宅まちなか団地建設計画について
 - ・新型インフルエンザ予防接種助成事業について
 - ・北網地域活性化協議会について
- 第9回（12月7日）
- ・農業新規参入について
 - ・町営バスの設置及び運行管理に関する条例の改正について
 - ・町道の廃止について
 - ・北海道後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について
 - ・（仮称）津別町多目的活動センターについて

議会運営委員会

第9回（10月23日）

- ・第8回津別町議会臨時会の運営について

第10回（11月24日）

- ・第9回津別町議会臨時会の運営について

第11回（12月15日）

- ・第10回津別町議会定例会の運営について

・意見書の取り扱いについて

・議員報酬等の見直しについて

第12回（12月21日）

・議員報酬等の見直しについて

決算審査特別委員会

第2回（10月30日）

・一般会計他8会計の認定について

議会広報特別委員会

第5回（1月14日）

・議会報131号の編集について

議会日誌

10月

- 22日 北網ブロック議会議員研修会
(訓子府町)
- 23日 議会運営委員会
- 25日 東京つべつ会設立20周年記念総会
(東京)
- 28日 第8回津別町議会臨時会
- 28日 第4回全員協議会
- 30日 決算審査特別委員会

11月

- 9日 産業福祉常任委員会
- 11日 町村議会議長全国大会(東京)
- 16日 総務文教常任委員会
- 24日 議会運営委員会
- 26日 第9回津別町議会臨時会

12月

- 3日 管内町村議会議長会臨時総会
(大空町)
- 3日 北網ブロック議長会議(大空町)
- 7日 産業福祉常任委員会
- 8日 総務文教常任委員会
- 15日 議会運営委員会
- 20～21日 第10回津別町議会定例会
- 21日 議会運営委員会
- 24日 第5回全員協議会

1月

- 14日 議会広報特別委員会



意見書

関係行政庁へ
提出しました

農業共済制度の見直しに関する意見書

- ◆提出先 内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣

道立衛生学院の存続を求める意見書

- ◆提出先 北海道知事

季節労働者対策の強化を求める意見書

- ◆提出先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、国土交通大臣

社会的セーフティネットの拡充に関する意見書

- ◆提出先 衆議院議長、参議院議長、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣

改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書

- ◆提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、国家公安委員長、金融担当大臣、消費者及び食品安全担当大臣

新たな食料・農業・農村基本計画に関する意見書

- ◆提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣

平成22年度戸別所得補償モデル対策及び関連政策に関する意見書

- ◆提出先 内閣総理大臣、農林水産大臣

電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書

- ◆提出先 総務大臣、財務大臣、産業経済大臣

はぐるま

—歯車—

政権交代は、マンネリを排除し、新しいものに期待する気持ちの高まりが新政権を誕生させたのだと思います。

地域や社会の大きな問題となっている現状をどう打開して行くのか、私たち地方に生きる人々の努力が報われる政治であってほしいと心から願うものです。

さて、津別においては、住民代表50人と役員職員による第5次津別町総合計画策定審議会が発足し、「町は舞台、町民が主役」をテーマに、向こう10か年の町づくり計画が策定された。

政権交代により事業仕分けが公開で行われ、1時間での事業の仕分けは形だけの取り組みと指摘する者、評価する者さまざまであるが、問題は公開の事業仕分けが何を国民にもたらしたのか、である。

津別における向こう10か年計画は、何を優先的に進めるのか、1つ1つの事業を住民公開で取り組むことができるなら、行政のやるべきことが見えてくるのではないか。

(村田)